令和８年度　高志中学校１年　「高志学」外部講師リレー講座③

１　期　　日　１１月５日（木）
２　場　　所　福井県立高志中学校　若葉食堂
３　講　　師　【前半】サカセ化学工業株式会社　代表取締役社長　酒井　哲夫　様
　　【後半】福井鐵工株式会社　人材開発・総務チーム　中村　　裕　様
４　参加生徒　８８名
５　報　　告

【前半】



従業員約 160 人という中小企業でありながら、全国に誇れる製品をつくっていることを熱く語っていただきました。特に医療用のキャビネットは全国のトップシェアを誇り、テレビドラマの背景にもたくさん登場していることを知り、生徒たちは驚いていました。また、多様化する市場に対応するため「自社生産」にこだわり、従来品ではできない要望をかなえていることにも感銘をうけていました。「非常識」はよくないが「脱常識」ということを意識しているという社長さんの言葉も印象的でした。生徒たちは興味津々で休み時間を返上して質問に行っていました。

【後半】



水門や橋の建設の他に、世界最大規模の地下実験水槽（ハイパーカミオカンデ）の建設に携わっているとお聞きし、驚きの声が上がっていました。福井の技術が世界に貢献していることに生徒たちもワクワクしていたようです。VUCA(先が読めずどんどん変わっていく)時代において、まずは目の前の「できる」を増やしていくことが大切だということも教えていただきました。「できる」を広げて「期待」してもらえるようになれば、いずれ「やりたい」につながっていくというお話が印象的でした。



生徒の感想

・サカセ工業さんのお話を聞いて、常識にとらわれない斬新なアイデアを常に出そうとしていることに感心しました。ニーズや環境に合わせて製品を工夫していて、誰にも思いつかないアイディアで、商品をアップデートすることの大切さがわかりました。
・自分の仕事を豊かにするには、「やりたい」、「できる」、「きたい」の３つを大切にする中で、「できる」ことを増やすことで「やりたい」が見つかるという考え方を初めて知りました。夢がなくて焦っていたのですが、この考え方を知って少し安心しました。